

宜上, $l \approx l'$ として, l' を算出するようにした。

スイッチの設計に当っては,

- ① はんだごての重量測定。
- ② 接点AとCの間隔決定。
- ③ 接点Aの幅の決定。
- ④ 接点Bの高さ決定。
- ⑤ 接点Cの高さ決定。

という順序で行なうのが一般的であろう。①と②が決定したなら, 幅Sの算出になるので, 式(3)を用いて, およそ, その値を計算することができる。

例えば, はんだごての重さ44g, ACの間隔1.5mmとするならば, Sの値は, 10.1mmとなり, 10mm幅に接点Aを決定すればよいことになる。④, ⑤は, ②により決る。

以上は, 燐青銅板, $a = 0.3\text{mm}$, $L = 25\text{mm}$ として, Sを算出したものであり, 材料や測定 conditions で計算式も異なるのである。

(6) 製作図 (自動スイッチ分のみ)

1) 接点A

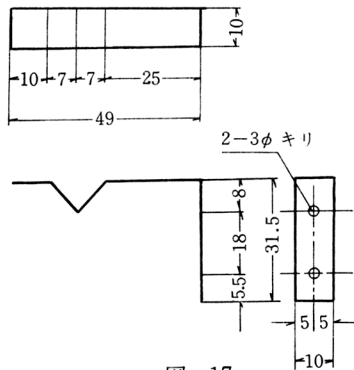


図-17

2) 接点B

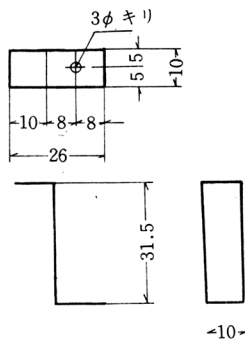


図-18

3) はんだごてのせ金具D

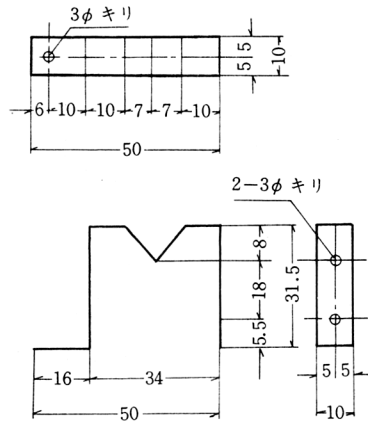


図-19

4) はんだごて台

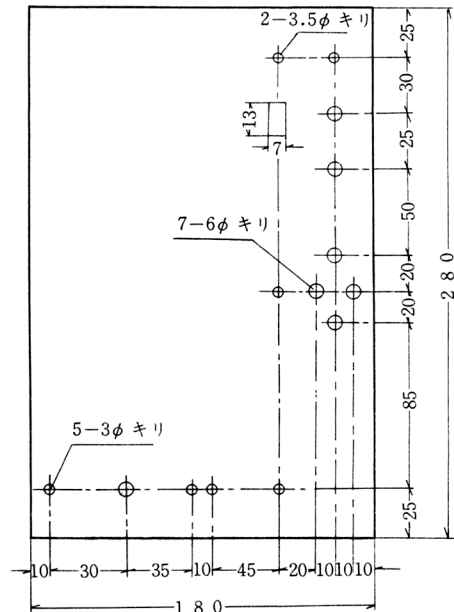


図-19